



花いっぱい自分友だち御一小

御前崎市立第一小学校 学校だより 9月号

さいきん たのしい一日です

これは、1学期の最後に行った、学校アンケート（中間評価）の自由記述欄に2年生が書いてくれた言葉です。この短い一文は、私たち職員をととても勇気づけてくれるものでした。そのほかにも、子どもらしい声をたくさん伝えてもらいました。

① みんなでがこうをいけて
いいです。

② みんなわらてるがこうがいいです。

③ だいじょうぶてゆてるがこうがいいです。

④ あさがおがさいてうれしかった。

1年原文のまま

授業がわかりやすく、苦手だ
った算数も少しずつできて

問題が解けるととても楽しいです！

だからあつという間に授業が終わるし、一日

もすぐ終わって、一週間もすぐおわって、本当

に6年生が一番楽しいです。 6年

逆に、「楽しくない」の声や、困っていること、新たな提案もありました。

- ・ぼうげんをなくして、やさしいクラスにしたい。
- ・あいさつをもっとする。
- ・違う学年や、学校全体でイベントをやれたらいい。



602人の子どもたち全員に「楽しい一日」を過ごしてほしいというのは、職員みんなの強い願いです。夏の職員研修では、中間評価の結果をもとに2学期の教育計画について話し合いました。頑張って回答してくれた子どもたちの「大人への信頼」「大人への期待」を裏切ることのないよう、職員一同力を合わせて取り組んでいきます。



未来プロジェクト「思いやり 勇気の心を広げる学校」とは

8月31日（木）2年生のひゅうさんが、八千代公園噴水のごみ拾いをしていたと、地域の方から嬉しい電話をいただきました。ひゅうさんに事情を聞くと、こう話してくれました。「前の日に、6年生2人が船の遊具の裏側でごみを拾っているところを見たから、自分も真似したほうがいいかなと思って。」その6年生は、翔太さんと瑛斗さんでした。

2人に事情を聞くと、「1回目に見たときは汚いなと思ったけど、もう1回見たとき、汚いままだといやだな、と思ったから」と話してくれました。

ごみを拾ってくれた6年生、それを見て自分もやろうとした2年生、お電話くださった地域の方、全員に心からの「ありがとう」を贈ります。

6年生2人の勇気の心が、2年生に広がったできごとです。

（マンガのような転び方をしたけれど、幸いケガをしなかった校長 仁平美和子）

